

愛媛支部

学習会だより

ひめ通研では、各部がそれぞれの持ち味を生かしてさまざまな学習会を開いています。その中から、1月に開催した学習会を二つ紹介します。

まずは、健康対策部学習会。「災害時に役立つ知識と技術」というテーマで、赤十字健康生活支援講習指導員の中村登美江先生をお迎えして、前半は講義、後半は実習の形式で行いました。清拭用タオルの準備の仕方、ハンドマッサージなど、いつか来る災害に備えて、またそれだけでなく日々の暮らしの中でもすぐに生かせるお話をうかがうことができました。



もう一つは、医療・介護部学習会。「手話通訳者が知っておきたい薬のあれこれ」と題し、大阪府立急性期・総合医療センター薬剤師の柴田昌彦先生に、ろう者の立場からお話をいただきました。薬に関してろう者が間違いやすい事例や、具体的な手話表現について考えたりと、わかりやすく、新たな気づきのきっかけとなる学習会でした。

手話フォーラム開催

香川支部

今回は、香川県聴覚障害者協会と合同で開催している「手話フォーラム」について紹介いたします。今年で24回目となる手話フォーラムを、2月19日(日)高松市総合福祉会館にて開催しました。聴障協会・賛助会員・講座受講生・香通研会員(22名)合わせて72名の参加がありました。毎年開催前に、協会と香通研から委員を選出し、4~5回くらいフォーラム委員会として打ち合わせを行っています。午前中は「資料から見えるろう者・手話の歴史」と題し、社会福祉法人全国手話研修センター日本手話研究所所長の高田英一氏をお招きしての講演で、貴重な資料や懐かしい写真とともに、ろう者の歴史、手話の歴史を分かりやすく解説していただきました。午後からは3つの分科会に分かれ「日本地図を使い、クイズに答えながら県名を覚える」「両手を使う手話で豊かな表現を学ぼう」「いろはカルタを使ってイメージをふくらまそう」と、どの分科会も工夫した内容で充実していました。講座の受講生にとっては、生きた手話を見られる絶好の機会で大変好評でした。



あさいと 結社

新しい年が明けて初めての学習会が1月15日高知市で開催されました。

とさ通研の定例学習会は年8回あります。その内毎年1月に開かれる「手話で話そう」をテーマにした学習会は5回目になります。講師は毎回前田会長です。未会員さんがより参加しやすいように呼びかけをしています。今回の参加者は23名で、そのうち未会員さんは13名でした。

内容は、誰もが持つ悩みをスッキリさせるものです。『手話は映像をもとにして作られた単語やCL表現から出来ている』がレジメの一節にあります。CLという言葉は知っていても、実際はピンときていなかった私たち運営委員も目からウロコ!状態でした。講師の話の中に具体的例が沢山あったことと、パワーポイントと講師の表現を見る学習なので理解しやすいと感じました。実際に提出して頂いた感想をみると、具体的にCLが分かったと書いてあり嬉しく感じました。

会員になって学習したいとの感想もあり、大変充実した学習会でした。

高知支部



聴覚障害者と学ぶ防災講座と健康講座

1月29日(日)西組織部企画の「防災講座」と「健康講座」を吉野川市で開催。当日は、手話通訳者養成課程(手話通訳Ⅲ)の講演場面の「観察実習」と「通訳実習」も同時開催しました。

講師は吉野川市防災対策課と健康増進課より講師を招いての学習会です。毎年西組織部では、吉野川市在住の聴覚障害者を対象に行政から講師を招いての学習会を開催してきています。今年は防災課からも話がしたいと積極的な要望があり、一日かけての学習会となりました。近隣のろう者にも呼びかけたので、当日は11人のろう者の参加がありました。内容も工夫がされていたので、真剣なまなざしで手話通訳を見てくれたのが印象的でした。実習生も観察をしながら参加して人数稼ぎに一役買っていただき、午後の通訳実習では、自分の手話通訳を見ずに登録通訳者の方へろう者の視線が向くのがつらく感じた人もいたようです。そんな思いもばねにしてさらに精進してくれることを期待したいと思います。



徳島支部